

# 非常時下道路交通計畫に就て

一日 小生

五年目に入りたる支那事變又歐洲戰爭共に新聞紙を通して、日夜吾々は其の變轉の極まりなく激しきを識るに及び戦塵外に在りと雖も、緊張感は日増しに加はり、果して此れで良いのかと思はしめらる。戦雲の擴大は恰かも不連続線の如く何時内地に波及するやも量られぬ今日國土防衛の大業を單り軍にのみ依存するは軍の活動を著しく妨碍することゝなり由々敷重大事であると思ふ。其處で吾々路政を云爲する者は、國內榮養補給路たる道路を如何に護り、如何に活用するかを深く考慮し對策を樹立し置くべきではあるまいか。道路の持つ使命の如何に一國の浮沈に重大關係を有するかは、即ち直接現地に於ける作戰上に、又占據後の和平施設に、將又敵國命脈の鍵を握るのにも、偏に輸送

道路の健在なりや否やに在る。斯の如く、攻むるにも、護るにも亦建設にも道路の持つ使命は絶大なるものである。然るに此の道路の重要性を深く認識して、戦時下道路の活用を計畫したるを寡聞にして未だに聞かぬ。

世界情勢の急迫は、寸刻と雖も止まらざる現下、國內道路交通に對する一定の計畫を樹立し、以て有事に處するは蓋し當然否必須的措置と思惟す。即ち道路は鐵道輸送と相俟つて、常時國內發展の榮養補血路として、日夜貢獻しつゝあり。港灣は人體で云へば口の如く、多大の貨物を海路を通して吞吐すると雖も、其の口に陸揚げされた。幾多貨物を生産消費の經濟中心地即ち胃の腑に送るには、矢張道路に依るか鐵道に依るの外なし、然し鐵道輸送は遠隔地輸

送を目的とするものなる爲大體は道路輸送を主として爲されて居るのが現状である。此の食道であるところの道路及生産消費の胃の腑より其の培養勢力範圍に屬する他の小都市、各町村又は他の經濟中樞都市との間に相互輸血の役目を果しつゝある動脈たる幹線道路より毛細管的道路に至る道。

國民が道路として強く意識するときは何等の屈託なく車上の人となり快適を味はひつゝあるときに前車の風塵を浴びて顔を曇め又バウンドの激しきに危険を感じ或は路端の人となりたる時砂塵の頭から浴びせられ或は雨中車輪に泥土を着衣に跳ねられたるとき暴若無人に走り去る自動車を恨みもするが道路が悪いなとつくづく感じ内心憤りをさへ起し斯様な道路を何日迄も放つて置いて日本は一等國と云へるだらうかと爲政者に對する怨嗟の言葉が口を衝く、其の同一人が今度は春風を剪つて鋪裝道路をドライブするときは無上の快を覺え、良い道路だ全國の道路が此の様に全部鋪裝されれば何と愉快だらう等と、前の苦味を忘れ盡

の好いことを口にする。其れも無理は無いとしてみても道路の善惡に依り享けたる道路に對する感情を飽く迄活かし道路を改良すべしとする公益理念を持つて呉れば結構だが大方は其の瞬間が過ぎると道路に對する觀念が無神経と云つて良い位消滅して終つて毎日の家の出入にも、通勤するにしても道路に依て安全に生計の糧を家庭に補給して居るにも不拘、皆道路の有難味を意識して居ない。餘り吾々の生活と道路とは切つても切れぬ間近な密接不可分關係にあるので國民は皆無意識の中に自分のものと思ひ込んで居るから、却つて其れを云ふ方が無理かも知れぬ。

然し今こそ道路の重要性を一般國民に認識せしめる秋だ。

變遷の急激なる世相は戰爭と云ふ不連續線の黒雲か皇土には絶對に來襲せぬと誰か斷言し得るであらうか。否々日に日に國民の意識は擴大し緊張感は濃度化して行く、其れでこそ日本國民だ政府が音頭を取つて國民精神の統一を諸外國に對して恥かしくもなく初めるとき國民は既に其の要

は無い日本國民は國家の大事を良く識つて居る。今更政府が精神統一を呼ばずとも全國國民は皆心を一にして却つて政府を鞭撻して居るではないか。斯様に重大なるの秋國內に戰場の出場したるときを想起して見よ。即ち。

路幅の狭い我國の國道以下の道路は近時漸やく國直轄を以て斷片的に改良工事を施行され鋪裝道路も増加し來つた様だが歐米先進國からすれば未だ、遅れ過ぎて居る。今次事變の進行と國內情勢の逼迫とに鑑み益々改良の遲延を痛感すると共に胸の重きを如何ともすることが出来ない。然して今此處に路政の遲速を云々する氣は起らない。唯如何にして現在道路を此の非常時下に於て最大限度に活用すべきかを論じたい。即ち。

鐵道はレールに據るもの故、限られたる非常時計畫を速かに樹て得ると思ふが、道路は全國普遍的に無限の輸送力を有し大は動脈幹線たる國道より、小は毛細管的の市町村道農道に至る迄道路と云ふ道路は相互に連絡し錯雜して居て網の目の如くなるが故に一朝一夕にして其の各道路の交通

方向、交通物體の通行を或る一定方針の下に統制せむとするは到底爲し得べからざることなるを以て一朝有事に際會せむか唯交通せむとする者の意欲に任すの外なき亂脈通行となり、軍隊及重要物資の輸送等に一大支障を生ぜしめ徒に喧噪を惹起し、交通の流を滯流する爲、近く佛京巴里に出現したるが如く時間を空費し又思はぬ負傷者を出す等周章狼狽の結果交通事故の發生は至る所に頻發すること、惟ふ其れを思ふとき慄然たるものがある。今からでも遅くはない。

官民擧つて速かに非常時交通計畫を樹立すべきだ。例を東京に採るならば東京横濱間を連繫する道路（トラツクの通行に支障なきもの）何本ある、其の各々の路線に付性能調査即ち此の路線は主として東京の何方面より横濱の何方面に向つて最も重要な役割を爲すかを調査をして置き、其數路線の中何線かが交通を遮斷せられたりとするも修理成る迄は直に他の何れかの路線に依り横濱との連絡を採るとする如く、又横濱より東京に入る場合は何れの路線に依

り入り、甲の道路に故障が生じたるときは乙の道路に依ると云ふ如く、交通の流れを單に左行右行に整理するのみならず、都市への出入に關し指導統制する一方交通物體に付ても彌次馬的交通を一切嚴禁し關係都市間の必需物資輸送のみに使用せしめ高速度交通用具の持てる最大能力を發揮せしむることとする。さすれば運轉者も亦安心して激務に服し得ることとなり人的資源の上からも能率は倍加する。又従つて戦時下最重要物資であり限られたる交通用具（自動車）の必需方面への移動ともなり、重點的利用を促進するを以て經濟價值を幾倍加せしめたる重點主義を自然の中に遺憾なく國民に體得せしむることとなる。以上は主として道路利用の動的方面のみに付き論じたるも、尙其れ以上に焦眉緊切なる仕事が残されて居る。

即ち前述の如く我國の道路は概ね原始道路の域を脱せざるものにして偶々近代様装を施工せる道路も當初改良計畫の樹立に方り規模小なる爲幅員狭少に過ぎ平時に於てさへ交通用具の發達に對應し得ざる状態なるを以て、有事の際

に當りて物の役に立つもの幾干なるや甚だ心許ない次第である。其貧弱なる道路を如何にして砲彈下護り得るか、如何にして現狀を斯の如く維持し、重要交通に障礙を來さざる様經營すべきかは、今日最も喫緊事なりと信ず。然らば其の對策を如何にすべきか。

投彈に因る道路破損箇所の急速復舊即ち彈穴の箇所には穴埋工を、築堤破壊の箇所には盛土を爲し又は崩土の取除きを爲す等、橋梁に付ては何徑間の長橋を初め鋼鐵橋混凝土橋の如き永久構造の橋梁が爆破せられたるときは應急措置即ち十徑間の橋梁ならば何徑間直落下したるときは此の材料を以て此の工法で應急修理を爲し、何徑間以上落下したるときは一時交通止を爲し、修理成る迄は斯々の經路に依り代替橋を指令し交通の流れを逆流せしめざる様豫め計畫を樹て、置くことが緊急措置である。勿論小破修理に對しても同様措置する。斯の如く橋梁破損に因る交通不能の場合他の代替橋に依るべきは必然なるを以て他の代るべき橋梁が果して其れ丈の荷重に堪へ得るや否やの調査を爲し

置き戦争回避至難と見たるときは直ちに補強工作を爲し萬一に備へるが現下の最大急務ではあるまいか。

而して右の應急準備を全國一般にと云ふことは物資の關係から又勞力不足の折柄困難なるは必定なるを以て最も重要な道路、橋梁に付用意するより外に途は無いと思ふ。

例へて云へば本土を循環する國道及表裏日本を連結する國道及重要府縣道に付復舊費材並に勞力の準備を爲す。其處で資材だが資材は大體木材が主材なるを以て何うやら間に合はせることが出来るが最も困難なるのは勞力である。

此の勞力を如何に集中使役するかの問題が根本問題となることと思ふ。然らば如何にして其の勞力を得るか、平時に於ては理窟もあらうが、戦争には是が非でも勝たねばならぬといふ點が全國民の希求する最大なものである。其處で國民總力戦といふことが生きて來る其の勞力は其の道路の沿道附近地住民、主として既成團體たる警防團、青年團及學生の力を藉りてする、下級水防組合の様に水防組合は其の地方の限られたる地區の爲効果があるが道路は全國的の

ものであるから意義はもつと大であるからと云つて此れら昔の助郷制の如く義務制にするのは非常識と云ふ者があるかも知れぬ又沿道居住者なるが故に斯様な義務を無償にて負擔せしめられては所謂不合理ではないかと云ふかも知れぬ。誠に沿道居住者なるが故に此の種の義務を課せらるゝのは迷惑であらう。然し頭の上で敵機が舞ひ太砲の音が聞え出したら、重要物資輸送の動脈を一時たりとも停滯せしむることが出來様か破壊附近の住民は誰が指圖をせずとも亦官の指示を俟たずとも必度協力して復舊に當るであらう。其れが日本人の本性だ。かるが故に今日此れらを善導して犠牲的精神發揚に迄導き、進んで國土保全に協力せしむれば日本人たるものは何で不平を口にすべきか、其處で民衆の力を藉りるとしても唯譯もなく集合したのでは効果なく意味を爲さない。宜敷復舊に關する應急技術の指導訓練を爲し置く事が最も肝要である。

即ち道路に付ては穴埋の方法、盛土の仕方並崩土取片附けの方法等を、橋梁に在りては此の程度のもは斯様にと

今から指導訓練すべきである。幸ひ我國には古來より他に  
見ざる足場技術あり此の重寶な技術を此の機會に一般民衆  
に土木技術と共によく體驗修練せしむれば聽て民衆に科學  
的興味をそゝり、民衆自身進んで協力もし或は又素人技術  
の甘味を發見せぬでもあるまい。斯様に精神に身體に國家  
に對する協力犠牲の觀念を培養せしむることは現下最も緊  
要のことと思ふ。

國內交通か一時たりとも停滯故障するときは全國に及ぼ  
す影響は甚だ大なるものがある、依て平常より如何に國民

一人一人の力が重要なるかを自覺せしめ、國土保全に協力  
せしめねばならぬ。然し其の指導訓練を爲す關係官廳、府  
縣公共團體の土木係員、警察官は自己の責務の重大なるを  
痛感して職域奉公の誠を盡し、親切丁寧に指導訓練し萬一  
の場合氣持良き協力を得ることに心懸けねばならぬこと、  
思ふ。

以上述べ來つた卑見か多少とも當事者の耳に入り、戰時  
下道路交通計畫が樹立されることとなれば幸甚である。

## 獨逸自動車専用道路の給油所に 就いて

M  
・  
T  
生